

前回の北区民まちづくり会議（令和3年3月16日）以降の修正箇所等について

該当箇所	No.	意見内容	対応内容	区分
全体	1	色彩はユニバーサルデザインに配慮しているか	色彩についてユニバーサルデザインに対応していることを改めて確認。	まちづくり会議(國安委員)
	2	カタカナ表記が多く目に付くので、全世代にとって馴染みの薄い言葉には解説を付す必要がある	(追記) ⇒ 全世代にとって馴染みが薄いと考えられる用語について、以下のとおり解説を付す。 <u>(4ページ) レジリエンス：様々な危機からの回復力・復元力・強靱性</u> <u>(10ページ) インバウンド：訪日外国人観光客</u> <u>(16ページ) SNS：人と人の交流を促進するためのインターネット上のサービス</u> <u>(22ページ) リモート：遠隔</u> <u>(24ページ) シェアハウス：複数人で共有して住むことを目的とした住宅</u> <u>(24ページ) コワーキングスペース：場所を共有しながら、それぞれが独立した仕事を行うことを目的とした場所</u> <u>(33ページ) プラットフォーム：異なる主体の相互作用を促す基盤</u> <u>(34ページ) リーディングプロジェクト：計画を主導する役割を果たす事業</u> <u>(34ページ) ICT：情報通信技術</u> <u>(34ページ) コンテンツ：内容</u>	修正後 パブリックコメント
計画のタイトル	3	計画のタイトルを工夫し、より印象的にしたほうがよい	(追記) ⇒ 計画推進の大きな方向性を示すキーワードである“つながり”をサブタイトルとして用い、「 <u>北区基本計画～“つながり”の力で進めるまちづくり～</u> 」とする。	修正後 パブリックコメント

該当箇所	No.	意見内容	対応内容		区分
2ページ 1章 「③策定経過」	4	2ページ赤字の部分に「“つながり”が大切であるということが実感できるよ」という、この計画の根幹である大事なことが埋もれているのもっと目立たせたほうがよい	修正後	(追記) ・2ページ 小見出しとして「 <u>“つながり”で進めるまちづくり</u> 」を追加 ・それにあわせて2ページ上半分「令和元年度には、まちづくり会議の～」の上に小見出し「 <u>多くの区民を巻き込んだ部会での議論</u> 」を追加 ・計画のタイトルを「 <u>北区基本計画～“つながり”の力で進めるまちづくり～</u> 」とする。	まちづくり会議(寺田委員)
3ページ 2章 「②私たちを取り巻く環境」	5	環境の変化の中に「新型コロナウイルス感染症の影響」についても加え、4つにするべき	修正後	(追記) (1) 「引き続き人口減少」、「進む地球温暖化」、「厳しい財政状況」に加え、4つの大きな変化とする。 <u>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響</u> <u>新型コロナウイルス感染症の拡大は、差し迫った生命の危機をもたらすだけでなく、経済活動の停滞を引き起こしています。また、人々との関わり方も大きく変化し、地域活動等も縮小を余儀なくされています。</u>	パブリックコメント
	6	②私たちを取り巻く環境が市域レベルの話になっているため、北区レベルの内容も加えるべき	修正前 修正後	(2) 引き続き人口減少 国の長期推計でも、この傾向は今後も続く見通しです。 (3) 進む地球温暖化 私たちの生活は脅威にさらされています。 (2) 引き続き人口減少 国の長期推計でも、この傾向は今後も続く見通しです。 <u>北区においても、昭和50年をピークに人口減少に歯止めがかからず、高齢化率も29.2%と本市で3番目に高い水準となっています。</u> (3) 進む地球温暖化 私たちの生活は脅威にさらされています。 <u>北区においても、平成30年7月豪雨では、山間部で土砂災害による通行止め、長期間の停電などの大きな被害が発生し、差し迫ったリスクとなっています。また、まちなかでも浸水想定区域が広がっています。</u>	まちづくり会議(志藤座長)

該当箇所	No.	意見内容	対応内容		区分
3ページ 2章 ②私たちを取り巻く環境	7	(4) 厳しい財政状況について、不安になる内容ばかり記載されているが、“商店の連携”“担い手世代の活躍”などにより地域が元気になっていくという明るい未来も見せていったほうがよい	修正前	4ページ 厳しい財政状況の中だからこそ、区民、各種機関、企業、大学、行政等多様な主体が一体となって	まちづくり会議(平元委員)
			修正後	4ページ 厳しい財政状況の中だからこそ、区民、各種機関、企業、 <u>商店街</u> 、大学、行政等多様な主体が一体となり、 <u>次代の担い手世代を巻き込み育てながら</u>	
4ページ 2章 ③まちの将来像を実現するための13の目標	8	一般の人には“レジリエンス”が分かりにくいいため、説明が必要	修正前	SDGs やレジリエンスの考え方を踏まえ	まちづくり会議(志藤座長)
			修正後	SDGs (<u>5ページ参照</u>) やレジリエンス (<u>様々な危機からの回復力・復元力・強靭性</u>) の考え方を踏まえ	
5~10ページ 2章 SDGs マーク	9	SDGs の「1 貧困をなくそう」について、13の目標に記載がない。子ども食堂の記述等もあり、記載すべき	修正後	(追記) まちの将来像を実現するための13の目標のうち、次の目標に「1 貧困をなくそう」のマークを追記 「3. すべての人権が尊重されるまち」、「4. 区民主体で取り組む地域活動があるまち」、「5. 健康で安心して暮らすことができるまち」、「6. 安心安全なまち」、「7. 障害がある人との交流があるまち」、「9. 地域ぐるみで支え合う子育て環境のあるまち」、「11. 地域に根差した生涯学習・文化活動のあるまち」、「12. 北区の特色ある産業をいかした活力あるまち」	まちづくり会議(中谷副座長)

該当箇所	No.	意見内容		対応内容	区分
7ページ 2章 4. 区民主体 で取り組む 地域活動が あるまち	10	ワークライフ balan スについて追記して はどうか	修正前	単身世帯の増加やライフスタイルの変化など、 様々な要因により自治会・町内会加入率の減少が続 いており、地域活動の担い手不足などの課題にも直 面しています。区民一人ひとりが地域コミュニティ に関わりを持つためのきっかけづくりや、PTA や若 い世代の方々が企画するイベント等をサポートす る取組を進めていきます。	まちづ くり会 議(谷口 委員)
			修正後	単身世帯の増加やライフスタイルの変化など、 様々な要因により自治会・町内会加入率の減少が続 いており、地域活動の担い手不足などの課題にも直 面しています。 <u>ワークライフバランスを実現しなが ら地域活動にも積極的に参加することは、自身の生 きがいと充実感の醸成とともに、住みよいまちの維 持・発展につながります。</u> 区民一人ひとりが地域コ ミュニティに関わりを持つためのきっかけづくり や、PTA や若い世代の方々が企画するイベント等を サポートする取組を進めていきます。	
8ページ 2章 6. 安心安全 なまち	11	大宮交通公園を、幼児 期からの交通環境教 育の場として活用し てほしい	修正後	(追記) <u>また、大宮交通公園等を活用した交通安全の推進に 取り組みます。</u>	パブリ ックコ メント
9ページ 2章 10. 災害に 強く安心し て住み続け られるまち	12	自主防災会の活動を 周知するために研修 会を実施しているこ とについても盛り込 んではどうか	修正前	災害による被害軽減のため、コロナ禍での感染対策 や高齢者、妊産婦、障害のある方等の要配慮者への 支援の視点を取り入れた訓練、啓発を行い、いざと いう時に手を取り合って避難できるよう、地域にお けるつながりづくりに取り組みます。	パブリ ックコ メント
			修正後	災害による被害軽減のため、コロナ禍での感染対策 や高齢者、妊産婦、障害のある方等の要配慮者への 支援の視点を取り入れた訓練 <u>や研修</u> 、啓発を行い、 いざという時に手を取り合って避難できるよう、地 域におけるつながりづくりに取り組みます。	
	13	日頃からラジオを防 災の啓発ツールとし て活用するべき	修正後	(追記) <u>また、災害時の情報共有に有効なメディアとなるラ ジオを日頃から活用し、啓発活動等を実施します。</u>	パブリ ックコ メント
14	ラジオを災害時の情 報伝達のツールとし て活用するべき	修正後	(追記) <u>また、災害時の情報共有に有効なメディアとなるラ ジオを日頃から活用し、啓発活動等を実施します</u>	パブリ ックコ メント	

該当箇所	No.	意見内容	対応内容		区分
10ページ 2章 12. 北区 の特色ある産 業をいかした 活力ある まち	15	インバウンドについて も内容に盛り込む べき	修正前	北区固有の伝統産業や文化等をいかしながら、多くの方々が「ほんまもん」を体験できる場や農作物の恵み、木材の心地良さに触れられる、食育・木育を身近な場所で体験できる場を提供するとともに、商店街の活性化に取り組んでいきます。	パブリックコメント
			修正後	北区固有の伝統産業や文化等をいかしながら、 <u>インバウンド（訪日外国人観光客）も含め</u> 多くの方々が「ほんまもん」を体験できる場や農作物の恵み、木材の心地良さに触れられる、食育・木育を身近な場所で体験できる場を提供するとともに、商店街の活性化に取り組んでいきます。	
	16	北山杉の木工品や西陣織のネクタイ等の製品をふるさと納税の返礼品として全国に広めていくことを記載してはどうか	修正後	(追記) <u>また、そうした「ほんまもん」をふるさと納税の返礼品として採用すること等を通じて、その魅力を全国に広めていきます。</u>	パブリックコメント
10ページ 2章 13. 賑わい ある拠点がある まち	17	「賑わいある拠点があるまち」というタイトルについて、少し言葉の言い回しが分かりにくい	修正前	13. 賑わいある拠点があるまち	パブリックコメント
			修正後	13. 賑わい <u>が生まれる</u> 拠点があるまち	
14~32ページ 3章 各ライフステージ等ごとシート “まちはこんなことに取り組みます”	18	“まちはこんなことに取り組みます”という表現について、皆を巻き込んで住民参加を促すニュアンスが必要ではないか	修正前	“まちはこんなことに取り組みます”	まちづくり会議(水田委員)
			修正後	“まちは <u>手を取って</u> こんなことに取り組みます”	
14, 32ページ 3章 「子ども世代」及び「外国から来た人」	19	取組が少ないように見えるため、アクション03と「まちで既に取り組んでいること」の間スペースを埋めたほうがよい	修正後	写真サイズの拡大等レイアウトの調整によりスペースを詰める。	まちづくり会議(中谷副座長)

該当箇所	No	意見内容	対応内容		区分
25ページ 3章 「子育てする人」 右側上から 2つ目の吹き出し	20	“地域全体の子育て意識の向上により子育てに優しいまちになるかも”という願望の表現になっているが、願望ではなくこうでなければいけない姿。表現を修正すべき	修正前	地域全体の子育て意識の向上により、更に子育てに優しいまちになるかも	まちづくり会議(中谷副座長)
			修正後	地域全体の子育て意識が向上し、 <u>子育てに優しいまちを実現することで、北区で子育てしたい人が増えるかも</u>	
34ページ 4章 ②6つのリーディングプロジェクト	21	「スマートフォン教室の開催」について、幅広い世代がオンライン会議等に参加できるよう Zoom の講座も実施できればよい	修正前	ICT(情報通信技術)を地域コミュニティに取り入れるため、高齢者向けのスマートフォン講座を実施。それらを通じたつながりづくりを進めます。	パブリックコメント
			修正後	<u>オンライン会議の実施など</u> ICT(情報通信技術)を地域コミュニティに取り入れるため、高齢者向けのスマートフォン講座を実施。それらを通じたつながりづくりを進めます。	